

看護学研究科 看護学専攻〔修士課程〕

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>専門性の高い看護実践能力や教育研究能力を身につけ、所定の修了要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>◆看護学専攻〔修士課程〕</p> <p>看護学専攻〔修士課程〕では、2年以上在籍して30単位以上を修得するとともに、以下の要件を満たし、かつ、修士論文又は特定課題研究についての審査及び試験に合格した者に修士（看護学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.看護学や専門分野の既存の知見を収集し、批判的に評価し、統合して知識にすることができる。 2.グローバルな視点で保健・医療・福祉・看護に関わる社会、実践、研究の動向を把握し、課題を見出すことができる。 3.知識と経験によるエビデンスに基づいて、課題を分析、判断し、適切な手法や解決策を選択することができる。 4.多職種と連携・協働し、必要であれば専門職としてリーダーシップを発揮できる力を身につける。 5.人々の尊厳、権利を擁護するために倫理的課題を多角的に分析し、行動することができる。 6.自ら明確にした研究課題や実践課題の解決のための研究計画を立案・遂行し、研究成果を論文としてまとめ、発信することができる。 7.高度な実践力を身につけた看護専門職者として、社会から要請される実践を遂行できるよう自己研鑽できる。 	<p>修士課程のカリキュラムは、教育研究コースと高度実践看護師コースがあります。教育研究コースは、専門分野での専門性を高め、教育研究能力の開発をめざすコースです。高度実践看護師（専門看護師：CNS）コースは、看護ケア管理のスペシャリストとして機能することができるように、より専門性を深めた実践能力の開発をめざすコースです。</p> <p>DP達成のためのカリキュラム構成は下記のとおりです。</p> <p>目標1、2、3、4の看護学の専門能力、思考・判断力、スキルを育成するため、1年次の[専門支持科目]では情報収集、批判的評価、知識の統合化のための基本的知識と技法を修得するため「看護研究」、「看護理論」、「応用統計学」を、高度な看護学の実践力を身につけるため「フィジカルアセスメント」、「病態生理学」、「臨床薬理学」を配置する。また、看護学の課題を多角的に、創造的に考える力を育成するため、看護学について幅広い視点をもつための「看護管理」、「看護教育」、「看護政策」、「コンサルテーション」を配置する。これら専門支持科目で修得した知識や技法を活用し、看護学の専門分野に関する幅広い知識を体系化し、課題を分析するために、[専門科目]に「各看護学特論Ⅰ～Ⅳ」を配置する。これらの科目では、院生主体のグループワーク、プレゼンテーションや討議を教授方法として活用し、実践力ならびに協働するための力を育む。</p> <p>目標5、6の専門職としての倫理的視点を身につけ、看護学における自己の考えや実践力を表現する力を修得するため、[専門支持科目]として配置されている「看護倫理」、また、[専門科目]に配置されている「各看護学演習Ⅰ～Ⅳ」「実習」で専攻した看護学領域の課題についてコースワークを行う。さらに、「特別研究」あるいは「特別課題研究」において、看護現象における自己の探究課題を探究するための適切な研究手法を選択し、研究計画を立て研究を遂行し、論文作成し・発表する。</p> <p>すべての科目のコースワークの実施ならびに自己の学修成果に関する振り返りとおして、目標7にある専門職者として自己研鑽していく力を身につける。</p>